

白子まち歩きモデルコース白

寺家のまちなみ巡りコース(鼓ヶ浦駅発) 約3.1 km(約1時間32分) 寺家のまちなみを巡 ## 鈴鹿市伝統産業会館 | | | | | | 鼓橋 __ 子安観音寺

るコースです。迷路 なみを散策すると、 ^{|文4][D-4]} の文化人にちなんだ | 技ヶ浦海水浴場|| 名所が見つかるはず

鼓ヶ浦サンスポーツランド **■■■** 鈴鹿市伝統産業会館**■■■■■** 鼓橋**■**

(文4 10-4 山口誓子などの句碑・歌碑群 伊勢型紙や寺家出身 (11) C-4 鼓ヶ浦海水浴場 子安観音寺

白子公民館 | 11 東町公園の土俵 | 11 龍源寺 | 111 伊勢型紙資料館 | 111 勝速日神社 | 1111 悟真寺 歴19(K-1) 紀州藩と小笠原領地境界の榎

油屋忠兵衛家伊達家

歌人山中智恵子生家。

久住屋菓舗 青龍寺 | 11 雲心院 | 江島若宮八幡神社 | 白子の朝市 | 11 江島若宮八幡神社の常夜灯

白子のまちなみ巡りコース (白子駅発) 約3.8 k m(約2時間28分) 「白子駅 | IIII | 勝速日神社 | II | 悟真寺 | III | 紀州藩と小笠原領地境界の榎 | II | 寿善寺 | II | 芙蓉館・勢松丸資料館 | II | 江島若宮八幡神社の常夜燈

尹勢型紙資料館

から近代・現代まで様々 🥅 感じることができるはず

久留真神社 | 11 大徳屋長久本店 | 111 | 語らい館横田 | 111 | 東町公園の土俵 | 11 | 白子公民館 | 11 | 田中観月堂 | 1 | 油屋忠兵衛家伊達家 | 111 | 鏝絵



棋荘翁碑 歴1 A-2

楳荘翁は孔子を祖とした伝統的な政教一致の学を修めた人で け。1827年に現在の河芸町に生まれ、のちに寺家に住みまし た。絵・生け花・煎茶の才能に秀でており、多くの門人が寺 家にいました。この碑は門人が建立したものです。



白子公民館 歴 13 J-2

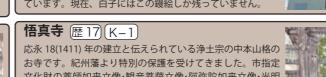
白子地区の公民館として市民に利用されています。江戸時代 には、白子代官所の管内の行政・訴訟・警察・税務の執行に伴っ 、これらの情報を掲示する高札場がありました。また、か 🌃 つて白子港にあった海岸兵舎の石碑も敷地内に飾られていま

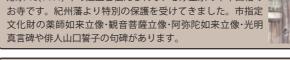
1634年に紀州藩の別邸と代官所を創設する際、久留真神社が 市指定文化財の山車4台が町中を練り歩きます。山車は、木 造 2 階屋形で高さ 3.6m、漆塗りの金箔仕上げで、400 年前に 制作したと伝えられています。

由屋忠兵衛家伊達家 歴 1:

は伊勢湾に迷い込んだ鯨を捕獲し、その耳石や髭を江島若 宮八幡神社へ奉納しました。現在の建物は築後100年以上経っ ており、伝統的建造物としての価値があります。

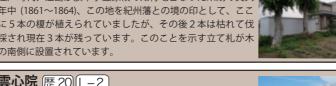
戸時代から明治にかけて発達した漆喰による壁の装飾で鏝 細工などと言われています。ここの図柄は波に浮かぶ鼓の絵 で鼓ヶ浦の伝説にちなんだもので、下の段は白ウサギが跳ね います。現在、白子にはこの鏝絵しか残っていません。





残っています。八代将軍徳川吉宗が名付けたとされる「不時 桜」(ふときさくら) は今も見事な花を咲かせます。また、 青龍寺内には沢山の文化財が保存されています。

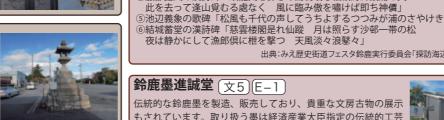
こ5本の榎が植えられていましたが、その後2本は枯れて代 採され現在3本が残っています。このことを示す立て札が



I島村の藩主、小笠原家の菩提寺です。初代領主の霊をまつ 、般若山雲心院を寺号としたものです。現在は集会所とし て使われています。また、寺の西側の街道に面した場所には 小笠原氏の陣屋がありました。

松丸」船額、おしろい製造販売の看板「芙蓉館」などを展示 しています。まちかど博物館としても親しまれています。

していた廻船問屋の船の航海安全を祈願して、江戸にあっ の神社に寄進したものです。江戸時代には、常夜燈のすぐ



に船出する1年前の江島浜と町並みの鳥瞰を描いた大型の絵馬

は能寺の変(1582年)の際、徳川家康が伊賀越えをし、亀山を抜け、 家臣3人と江島にたどり着きました。そして、小川孫三の機転で、 九死に一生を得て無事に三河へと帰ることができたと言われて

地獄道・餓鬼道・畜生道・阿修羅道・人間道・天道の六道を表す六体 地蔵があります。かつては今より東に存在していて「北の端 也蔵」と言われていましたが、昭和 51 (1976) 年に現在地へと 移転しました。地蔵菩薩の縁日(8月24~25日)には地蔵盆が

中勢型紙の作品が展示され伊勢型紙の体験実習ができる工房で 。重要無形文化財 伊勢型紙道具彫り技術保持者である故:中 村勇二郎氏に師事した、伊勢型紙の第一人者である中村喬勇匠

日展において 1965 年に初入選して以来数多くの入選を果たし これまでに2度特選を受賞し、1965年に桑名市立明正中学校で 記念像「希望」を制作するなど全国的に活躍する彫刻家長谷川

鈴鹿墨」と「伊勢型紙」の伝統工芸を紹介し、優れた技術を後 世に伝えるための施設です。定期的に伊勢形紙彫刻・鈴鹿墨制 🥛 作の実演がされ、伊勢形紙でできたしおりの彫刻体験もできま

山口誓子などの句碑・歌碑群 (文4) D-4



佐佐木信綱の歌碑「松千もと立てりをれども大君のきぬかさのまつの見の尊しも」

出典:みえ歴史街道フェスタ鈴鹿実行委員会「探訪海辺の伊勢街道 119

マップの右下に整理されています。

国海軍の整備した軍港が基盤となっています。コウナゴ・イワシ・ 'ナゴ・ノリ・アサリなどの水揚げがあります。

る菓子「小原木」は300年変わらない味を守り続けています。また、 16代伝承されてきた和菓子の木型、焼印、今では見られなくなっ

なつかしい家具が置かれたレトロなミニギャラリーとなってい ます。ギャラリーにはアーティストが持ち寄った手作りの雑貨 などが綺麗に置かれ、一部販売もされています。

東町公園の土俵 文8 L-3

す。また、東町公園の西側には追手風部屋の力士が宿泊する松

商標をいち早く取得し、昭和3(1928)年に天皇陛下が、昭和 54 (1979) 年には皇太子が直接お褒めになられました。

戸時代末の文久年間(1861年から 1863年)に創業以来、伊 特鈴鹿白子の里の風土と歴史が育んだ銘菓づくりで知られてい る老舗です。「大はら木」は伊勢鈴鹿市白子の名産として 200 年 の長きにわたって受け継がれて来た代表的な銘菓です。

毎月1と6のつく日は、江島若宮八幡神社前の一角で午前中に 白子の朝市」が開かれ、新鮮な地元の野菜や果物・鮮魚・日用 品が所狭しと並び、多くの人々で賑わいます。

浅の海水浴場です。夏の海水浴シーズンには県内・外の多くの





鼓ヶ浦海水浴場で見られる貝

野鳥のコロニー 自2 D-4 市内の石垣池から来たらしい、カワウやアオサギの姿を見るこ

とができ、季節によって対岸の鼓ヶ浦中学の堤防道から鳥たち の巣を良く観察できます。夏になると、ごくまれに釜屋橋付近 で美しい色のカワセミにも出会えます。白子で見られる野鳥は

<成長期:港・宿場町としての繁栄>

1915 年(大正 4 年)には伊勢軽便鉄道白子駅が開業され

当時、白子には白子代官所などが置かれ、伊勢湾における 『流の拠点となっていました。また、白子は伊勢街道の宿場 子港は軍港となり、横須賀海軍工廠施設部が開設されるな

*、*て海岸沿いにコンパクトに形成されていました。内陸部に まため池や田畑が広がっており、市街地と海や田園が一体と 田畑が広がっていることが分かります。 してデザインされていました

在もなお、白子駅以西に市街地が無秩序に拡大するスプロー

ることが分かります。



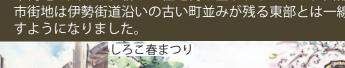




<転換期 2:市街地の拡大>

市街地は広がり、新しい住宅街が生まれましたが、西部の簀 すようになりました





白子・江島のまちなみ巡りコース (江島公園発) 約3.3 km(約1時間51分) 江島公園 111111 江島若宮八幡神社 111111 白子の朝市 1111111 江島若宮八幡神社の常夜燈 111

M-2 芙蓉館·勢松丸資料館

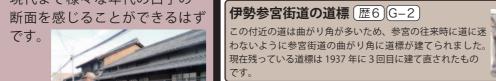
定産・子育で祈願の寺として全国から参詣者が訪れます。 は尊は「白衣観世音」で、国天然記念物である「不断桜」や して、古文書や山口誓子の作品など貴重な資料が数多く展示

置かれています。敷地内にある書院「木枯亭」では、山口誓 子が俳句教室を開いていたと言われており、現在も俳句の

長会が催されています。 **正因寺**〔歴4〕[C-2] 真宗高田派の寺です。山口誓子の句碑や親鸞聖人の子供

D像が置かれています。

F台宗から真宗高田派になって約 350 年になります。樹齢約



江島若宮八幡神

№ 18 (K-2) 青龍寺

入留真神社 (歴7) G-2 遠近より多くの人が参拝に訪れます。3月の初午には祭りが

。がい、紅白のモチまきが行われます

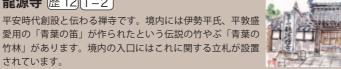
5り、作家井上靖が書いた記念碑があります。ベンチから望 む景色はすばらしく、夕陽に染まる海や四日市の工場群を眺

己州藩白子代官所の跡地です。寛永 11 (1634) 年に郡奉行

行として築かれ、のちに代官所と名を改めました。現在敷地 一部は小学校となっています。

真宗高田派の寺です。怠りなく刻を告げる寺の鐘は、田畑で 働く人や住民に時を知らせ、「林昌寺のかね」と呼ばれ重宝さ

日子屈指の型紙問屋として知られた寺尾家の住宅が資料館と いっており、貴重な型紙資料が展示されています。鈴鹿市の 旨定史跡として指定されています。



東南は港の入江の小浜と呼ばれる波打ちぎわで、常夜燈か 合代わりになっていたと言われています。

正時代の陶磁器、ガラス器、浮世絵、漆器、雛飾りのほか「勢 🎥

鈴鹿墨進誠堂 (文5)[E-1]

らされています。取り扱う墨は経済産業大臣指定の伝統的工芸

山口誓子の句碑「一湾の潮(うしお)しづもるきりぎりす」

服部擔風の漢詩碑「蚊龍気をおさめ鷺鴨眠る松籟涛聲鼓浦の天

松鳥十湖の句碑「天人もおりよつつみの浦の夏